

輸送動向について（7月分）

平成23年8月

1. 輸送概況

今月は、中旬に台風6号の接近に伴う大雨による輸送障害が発生したほか、下旬には新潟県、福島県を中心とした記録的な大雨（「平成23年7月新潟・福島豪雨」）による輸送障害が発生し、上越線が大きな被害を受け不通となった。これらの輸送障害に加え、東日本大震災による常磐線の不通も継続しており、月全体では高速貨393本が運休した。なお、上越線は復旧に時間を要することから、迂回列車の運転を行い輸送力の確保に努めている。

荷動きについては、上旬、気温が高めに推移し季節商品の出荷が旺盛となったことに加え節電関連の特需もあり堅調に推移したものの、月後半にかけて輸送障害の影響を強く受け、月全体では前年を大きく下回った。

コンテナ貨物は、自動車部品、家電・情報機器が前年を上回ったものの、震災の影響を強く受けた紙・パルプ、化学工業品などが前年を下回り、全体では前年比92.2%となった。自動車部品はメーカーの生産回復に伴い増送となった。また、家電・情報機器は節電意識の高まりにより、省エネ家電の売上が好調に推移したことに加え、7月24日の地上波デジタル放送開始を見据えた買い替え需要がピークを迎え前年を上回った。

車扱貨物は、石油が前年を下回ったものの、セメント・石灰石が前年を上回り、全体では前年比100.2%となった。セメント・石灰石は地域内の工事の増加に伴い増送となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,624	1,761	92.2%	6,106	6,828	89.4%
車 扱	747	746	100.2%	2,793	3,074	90.8%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	104	117	-13	88.9%
	化学工業品	158	176	-18	89.8%
	化学薬品	122	131	-9	93.1%
	食料工業品	287	298	-11	96.3%
	紙・パルプ	204	276	-72	73.9%
	他工業品	137	139	-2	98.6%
	積合せ貨物	166	172	-6	96.5%
	自動車部品	78	74	4	105.4%
	家電・情報機器	46	42	4	109.5%
	エコ関連物資	27	28	-1	96.4%
	その他	295	308	-13	95.8%
	コンテナ計	1,624	1,761	-137	92.2%
車 扱	石油	477	484	-7	98.5%
	セメント・石灰石	121	108	13	112.5%
	車 両	64	75	-11	84.3%
	その他	85	79	6	108.3%
	車 扱 計	747	746	1	100.2%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)